

令和六年度第三十五回俳人協会「東北俳句大会・山形大会」成績

大会賞（本部選者特選）

角谷 昌子特選

塩入れて飴引き締まる涅槃西風

秋田 岸边 吟遊

小鳥来る銃砲店の避雷針

福島 古市 文子

帰還解除狗尾草の猛る野に

福島 古市 文子

加古 宗也特選

遠目にも母校と分かる桜かな

岩手 円子 涼子

風よりも低く屈みて田を植うる

青森 鈴木志美恵

羽黒山まだ雪残る南谷

福島 橋本 研二

森田 純一郎特選

村の名の地酒真中に芋煮会

山形 鈴木 正子

北上の水引き入るる田植かな

岩手 馬場 吉彦

五加木飯上杉様と今も呼ぶ

山形 岸 桃魚

選者賞（地区選者特選）

佐藤 景心特選

遠足の大かたまりの雨やどり

千葉 中山 和子

牛の子を迎へる雪を掃きにけり

福島 古市 文子

船の名で漁師呼ぶあふ小春風

福島 清水 文恵

岩谷 塵外特選

地吹雪や窓に母待つ子の指紋

山形 佐藤 実

早池峰山の風の躍りて鯉のぼり

岩手 阿部野の女

ため息と思ふ金魚の泡ひとつ

青森 中谷 恭子

木村 秋湖特選

五加木飯上杉様と今も呼ぶ

山形 岸 桃魚

退院の荷の重からず新樹光

宮城 寒河江桑弓

遠青嶺うつる茂吉の丸眼鏡

山形 渡部 次代

草野 力丸特選

巨いなる征爾逝く夜冴返る

秋田 木村 登龍

炎昼の黙り込んで怖さかな

秋田 浅田 英夫

尊厳死説けば青葉の風起こり

山形 こせき貴美子

白濱 一羊特選

奔放に鷄飛んで修司の忌

青森 佐藤 霜魚

遠足の大きかたまりの雨やどり

千葉 中山 和子

青田風座敷に入れて眠りをり

秋田 種村聖巴子

澤口 航悠特選

灯台は海のはじまり鳥帰る

山形 山口 雀昭

母いつも開けおく戸口燕来る

秋田 塚本 佐市

車椅子たたみ手を引く花の宿

山形 菊地みさ子

坂内 佳禰特選

耕の向かうに津波避難塔

山形 岸 桃魚

花冷の螺旋細工の堂柱

山形 伊藤 ふみ

亀鳴くや文箱に考の蔵書印

栃木 緑川 啓子

小林 里子特選

草染の糸かぐはしき今朝の秋

福島 加藤十美子

たまゆらの胎児の心音さくらんぼ

山形 牧 静

やませ来る出羽の青垣そばだてて

山形 阿部美和子

横山 節哉特選

一国を貫く夏の大河かな

秋田 安倍 幸一

金魚売水を平らにして歩く

宮城 兵藤 康行

峰雲や沖を見つめる竜馬像

宮城 伊藤 一男

古市 文子特選

熊よけ鈴もらひ五人の入学児

青森 佐藤 幸子

春蟬のこゑ押し寄せて牛の産

岩手 服部 常代

父の日の砂糖の焦げる玉子焼

宮城 伊藤 一男

鈴木 正子特選

半壊の家に入りの夏燕

山形 横道 啓一

薫風や勢子十人の叫び声

山形 伊藤 数子

代掻くや今年限りで手離す田

青森 小笠原聖子

伊藤 ふみ特選

話したきことがいつぱい春の山

岩手 二階堂光江

熊よけ鈴もらひ五人の入学児

青森 佐藤 幸子

杖の身と言へど健脚青き踏む

秋田 小林 呼溪

当日句

染谷 秀雄選（本部選者）

特選

一本の竹伐る響き峡の村

山形 佐藤権一郎

山眺め喰ふふるさとの蝗かな

宮城 高宮 義治

葉の中に魚鱗きらりと崩れ築

宮城 大倉由美子

入選

秋澄むや掃除ロボットよく廻る

山形 金谷ゆかり

手付かずの蔵書あまたや秋灯

秋田 佐藤 茂樹

芋煮会けふ月山のよく霽れて

山形 牧 静

田の神を山へ送るや餅を搗き

東京 堀 江嘉子

湯気高し重機で掬ふ芋煮かな

山形 栗原ただし

神主の黒き浅沓秋麗ら

山形 小室けい子

立石寺の磴掃く人よ秋涼し

山形 伊藤小百合

旧懐を手繰るよすがや鳴子綱

山形 武田 菜美

月山の磐座の影赤とんぼ

宮城 小野寺みち子

寝袋に波音近し天の川

山形 渡辺 利子

伊藤 寛特選

濁流の引きたる岸边小鳥来る

岩手 大信田宏子

吉田千嘉子特選

虫の音のふくらみて来てはたと止む

福島 佐藤 和子

佐藤 茂樹特選

好きなこと一つ増やして敬老日

山形 川崎 典子

二階堂 光江特選

ふるさとをまた尋ねられ秋の旅

秋田 泉 千穂子

高宮 義治特選

燕去ぬ縄文女神は地を踏まへ

東京 角谷 昌子

橋本 研二特選

翁来し封人の家秋時雨

宮城 藤野 尚之

牧 静特選

みどりごの拳のかたし秋櫻

山形 田中由喜子

